

TOKYOink

東京インキ株式会社

東証スタンダード市場

証券コード：4635

これからも、彩る世界をあなたと共に



第3回 資産運用EXPO【夏】内「IR・株式投資フェア」

2024年7月12日～14日（当社ブース：3-93）

「上場企業によるIR・株式投資セミナー」

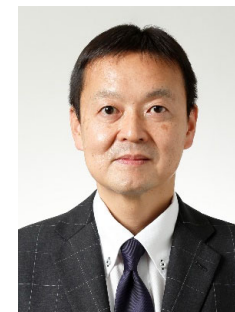
2024年7月13日 11：00～11：25



本日本お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業・製品紹介（暮らしの中の東京インキ）
3. 次の100年に向けて
4. 長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」
5. 直近の決算状況・通期業績予想
6. 持続的な企業価値向上に向けた取り組み
7. 株主還元施策

登壇者



中村 真次

取締役・常務執行役員
管理部門長、IR統括



鹿野 昌和

執行役員
社長室長

本日はご来場頂き、誠にありがとうございます
巻末に記載しておりますアンケート回答のご協力をお願いいたします

TOKYOink

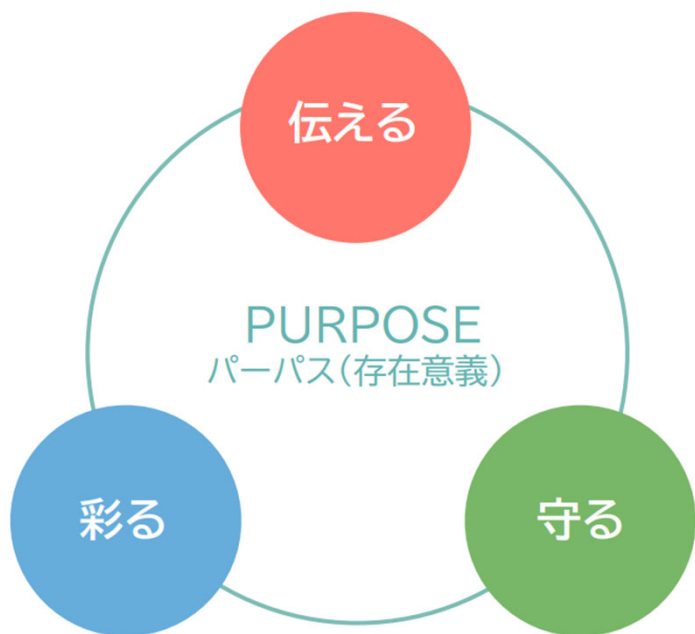
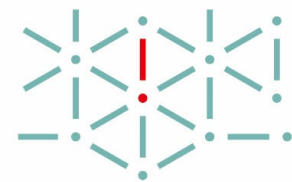
これからも、彩る世界をあなたと共に

100th
TOKYOink since 1923

2023年12月10日東京インキは創立100周年を迎えました。

この大きな節目を迎えることが出来るのは、
支えてくださったすべての皆様のおかげです。

心から感謝申し上げます。



「伝える」「彩る」「守る」ことで、 豊かな未来を実現する

人と人との間をつなぎ、「伝える」ことで、
これからも暮らしに貢献していきます。

身の回りを「彩る」ことで、これからも
我々の生活を豊かにしていきます。

地球や我々の生活を「守る」ことで、
これからの社会に貢献していきます。

会社概要

TOKYOink

連結売上高 (※)

439億円

総資産 (※)

524億円

国内拠点数

14拠点

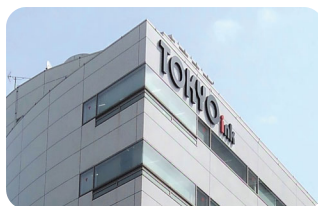
連結子会社数

9社

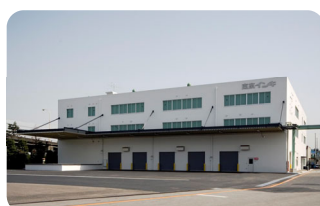
うち海外3社

(※) 2024年3月末時点

会社名	東京インキ株式会社
代表取締役	堀川 聡 (ほりかわ さとし)
上場区分 (証券コード)	東京証券取引所スタンダード市場 (4635)
設立	1923年 (大正12年) 12月
資本金	32億4,612万円
本社所在地	東京都北区王子1-12-4 TIC王子ビル
従業員数 (※)	【連結】684人 / 【単体】555人
事業内容	インキ事業 / 化成品事業 / 加工品事業 / 不動産賃貸事業



本社
(東京都北区)



吉野原工場
(埼玉県さいたま市)



羽生工場
(埼玉県羽生市)



土岐工場
(岐阜県土岐市)



タイ工場
(Thailand)

事業紹介

TOKYOink

インキ事業

オフセットインキ

グラビアインキ

インクジェットインク

地球環境に配慮した高機能、高品質な印刷インキ等を提供しています。

売上高構成比
33.1%



化成品事業

プラスチック用着色剤

プラスチック用機能性添加剤

樹脂コンパウンド

洗浄剤

パウダーレジン

その他機能性製品

さまざまな生活シーンで活用されているプラスチック部品、製品に機能を付与する各種高機能製品を提供しています。

売上高構成比
48.6%



加工品事業

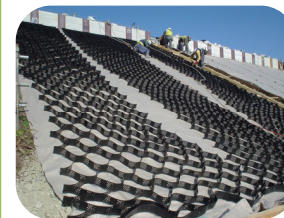
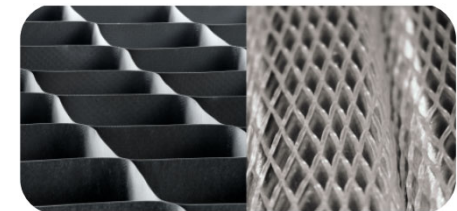
包装資材

工業・農業資材

土木・環境資材

特徴ある加工技術を駆使した産業用途の包装資材、工業・農業資材、土木・環境資材を提供しています。

売上高構成比
18.1%



不動産賃貸事業

賃貸戸建て住宅「パレットパークタウン」

賃貸オフィス「TIC王子ビル」

賃貸オフィスビル、ファミリー向けの賃貸戸建て住宅を保有しており、賃貸事業を展開しています。

売上高構成比
0.2%

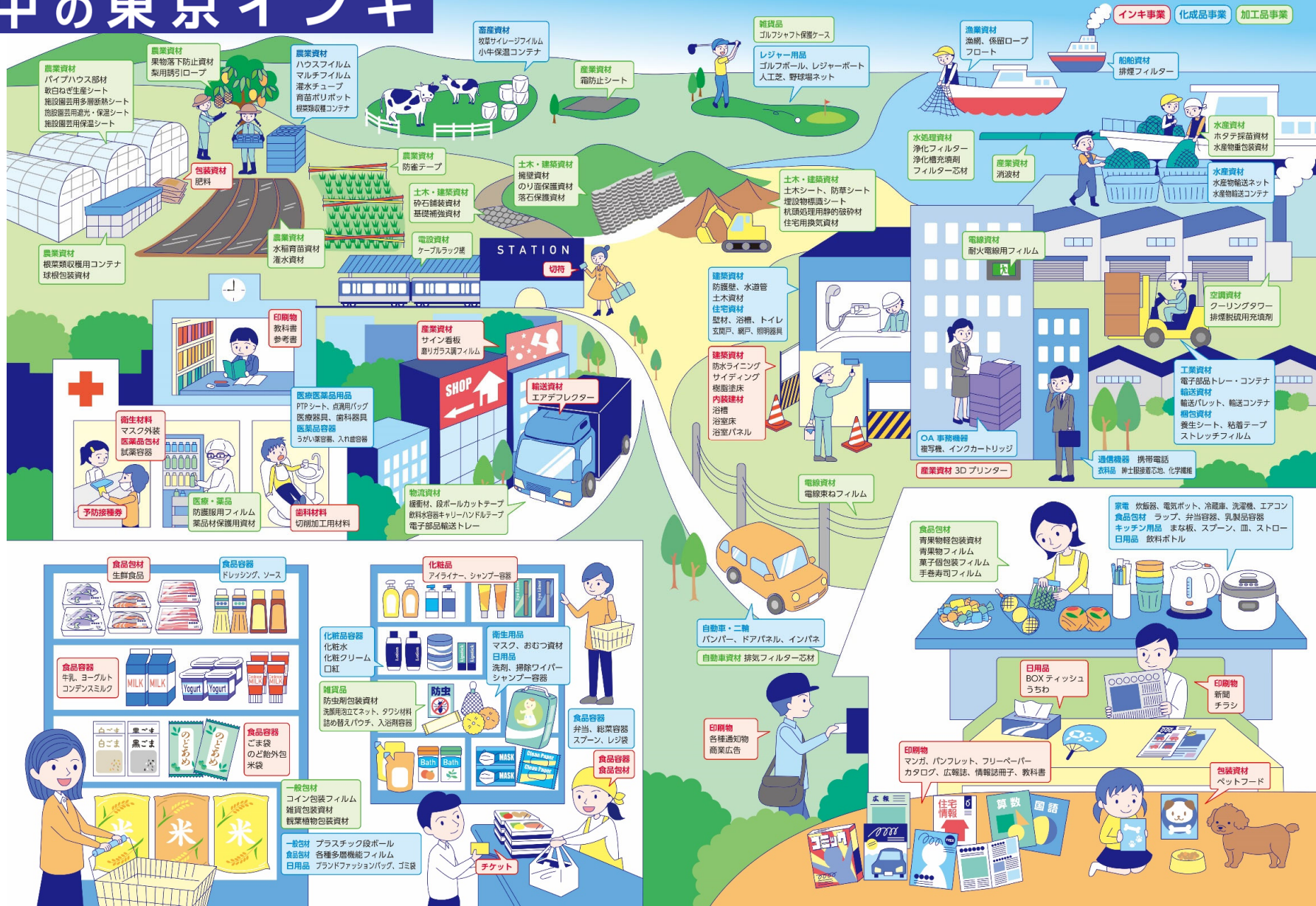


暮らしの中の東京インキ

インキ事業

化成品事業

加工品事業



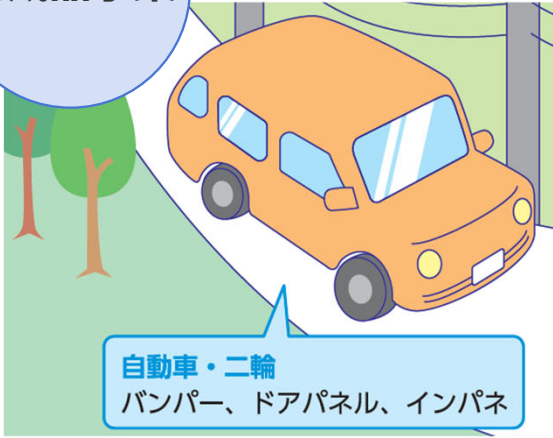
暮らしの中の東京インキ (1/4)



化成品事業

暮らしの中の東京インキ (2/4)

TOKYOink



食品包材
生鮮食品

食品容器
ドレッシング、ソース

食品容器
牛乳、ヨーグルト
コンデンスミルク

食品容器
ごま袋
のど飴外包
米袋

一般包材
コイン包装フィルム
雑貨包装資材
観葉植物包装資材

一般包材 プラスチック段ボール
食品包材 各種多層機能フィルム
日用品 ブランドファッションバッグ、ゴミ袋

化粧品
アイライナー、シャンプー容器

化粧品容器
化粧水
化粧クリーム
口紅

衛生用品
マスク、おむつ資材
日用品
洗剤、掃除ワイパー
シャンプー容器

雑貨品
防虫剤包装資材
洗顔用泡立てネット、タワシ材料
詰め替えパウチ、入浴剤容器

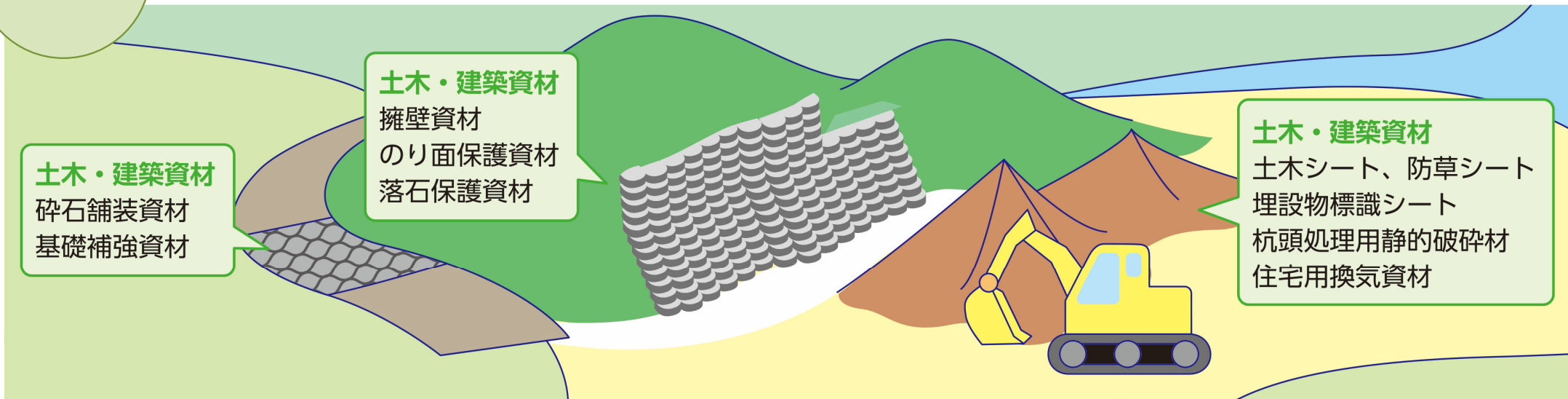
食品容器
弁当、総菜容器
スプーン、レジ袋

食品容器
食品包材

チケット



暮らしの中の東京インキ (3/4)



加工品事業

暮らしの中の東京インキ (4/4)

食品包材
青果物軽包装資材
青果物フィルム
菓子個包装フィルム
手巻寿司フィルム



農業資材
パイプハウス部材
軟白ねぎ生産シート
施設園芸用多層断熱シート
施設園芸用遮光・保温シート
施設園芸用保温シート

農業資材
果物落下防止資材
梨用誘引ロープ

農業資材
ハウスフィルム
マルチフィルム
灌水チューブ
育苗ポリポット
根菜類収穫コンテナ

農業資材
防雀テープ

包装資材
肥料

農業資材
水稻育苗資材
灌水資材

農業資材
根菜類収穫用コンテナ
球根包装資材

次の100年に向けて (1/3)



「伝える」「彩る」「守る」製品の提供を通じたサステナブル対応

サステナブル対応製品を「環境負荷低減製品」「社会貢献製品」の2軸に分け、広く社会に貢献することを目指します

環境負荷低減製品

ライフサイクルアセスメントの考え方に基づき、原材料における省資源化、製造過程での省エネ、環境負荷の軽減を目的として開発された製品

バイオマス材料の活用

リサイクル・生分解・モノマテリアル

省エネ・省力化の推進

社会貢献製品

安全で住みやすい社会の実現のため、防災、水資源確保、農業の発展、感染症対策といった視点から、製品に高い機能性を付与して開発された製品

自然災害対策

暮らしの安心・安全

各種機能性

次の100年に向けて (2/3)

TOKYOink

環境負荷低減製品

バイオマス材料の活用

動植物から生まれた再生可能な有機資源のことであり、これらの材料を積極的に採用することで炭酸ガス排出抑制および石化資源使用削減に貢献します。

ライスインキ

PULPTECC/LAMITECC

非食用部分の米ぬか原油を利用した環境調和型グラビアインキです。
米ぬか原油は、日本が誇る自給率100%（食用）の米を使用した唯一の国産バイオマス原料です。

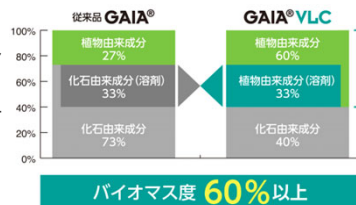


高バイオマスオフ輪インキ

ウェブアクタス ガイア® VLC

WEBACTUS GAIA® VLC

乾燥性能面からバイオマス度を上げることが困難だったオフセット輪転インキにおいてバイオマス度60%以上を実現、オフ輪印刷の乾燥工程で排出されるCO2の100%カーボンニュートラル化に成功しました。



リサイクル・生分解・モノマテリアル

3Rに加え海洋プラスチックごみ削減など環境対応が求められています。合成樹脂に練り込む機能性添加剤、グラビアで印刷するコーティング剤の両面でリサイクル、モノマテリアルのニーズに応え、生分解樹脂の普及も促進します。

生分解性樹脂用マスターバッチ パウダーレジン

最終的に水と二酸化炭素に分解される特徴を有しているため、プラスチックゴミの削減に繋がることから、市場は拡大傾向です。海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた団体CLOMA (Japan Clean Ocean Material Alliance) に加盟しています。



リサイクル成形加工助剤 / マテリアルリサイクル用相容剤マスターバッチ

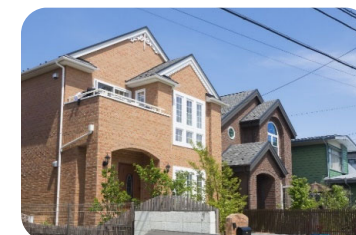
リサイクル合成樹脂の成形時の熱劣化による焼けや変色を抑制、加工性を向上させる添加剤、マテリアルリサイクル時に異なる樹脂同士の相容性を向上させる添加剤などを開発、再生プラスチックの使用を促進します。



省エネ・省力化の推進

材料・配合設計における環境負荷軽減に加え、顧客ニーズに応える省人化・省エネに貢献する製品の提案をシステムと合わせて提案します。

産業用インクジェットインク TIC-JET®



次の100年に向けて (3/3)

TOKYOink

社会貢献製品

自然災害対策

地球規模で進む気候変動に伴い、防災、減災のニーズが高まっています。また、環境負荷が少なく、短い工期で済む工法が要望されています。永年培った合成樹脂の技術を生かし、各種土木資材を工法と合わせ提案しています。

ジオセル (グランドセル®/テラセル®) のり面保護工法

のり面に設置し、中詰材を充填することで、のり面の浸食対策と緑化の両立が可能になります。コンクリートを使用する工法に比べ、軽量であるため搬送の負荷が軽減でき、CO2排出の低減に貢献、施工性にも優れています。



工事名：三陸鉄道南リアス線盛・吉浜間災害復旧工事

暮らしの安心・安全

フィルムに鮮度保持、紫外線吸収などの機能性を付与し、食品の賞味期限を延長、食品ロス削減に貢献しています。また、抗ウイルス、抗菌性を合成樹脂の添加剤、コーティング剤の両面から提案します。医療用グレードの材料も取扱い、機能性資材で広く社会に貢献します。

抗菌・抗カビ・抗ウイルス グラビアコーティング剤 抗菌ニスSCP

感染症防止のニーズに応え、機能性を付与する各種製品を開発しました。グラビアコーティング剤はSIAAマーク表示基準に適合しています。抗菌ニスSCPは廃棄されていたホタテ貝殻由来の抗菌剤を使用し、抗菌剤マスターバッチは合成樹脂に安全性が高い銀系無機物を練り込み、細菌の増殖を抑制しています。



鮮度保持剤マスターバッチ / 紫外線吸収剤マスターバッチ

生鮮野菜や青果物から放出される炭酸ガス、水分、エチレンガスをフィルムに吸着させ、長時間にわたり青果物の鮮度を保持したり、フィルムに紫外線カット機能を付与させることで、食品の賞味期限を延長、食品ロスの低減に貢献します。



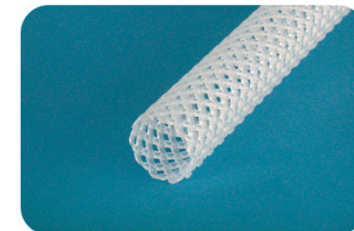
各種機能性

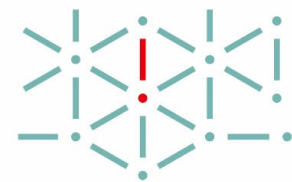
水資源、農業資材から放射線測定樹脂に至るまで、社会貢献製品の分野は多岐にわたります。社会のニーズの変化に合わせ、持続可能な社会の実現に向け開発を進めます。

EKエナジーキーパー®



水処理用資材





長期ビジョン ～2030年に目指す姿～

TOKYOink

TOKYOink Vision 2030

持続可能な価値を提供し続ける
企業グループへ

TOKYOink 2024

～ 飛躍への準備 ～

TOKYOink 2027

～ 変革の実践 ～

TOKYOink 2030

～ 新たな価値の創出 ～

2030年目標

- サステナブル対応製品比率の向上
- GHG排出量削減: ▲50%(2030年)
*2013年対比・Scope1,2
- パーパスとバリューの浸透
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた活動を推進
- エンゲージメントスコアの向上

● 売上高増収、営業利益増益の決算

- ✓ 前年度より各事業の取引条件が改善され、**売上高は増収、営業利益も改善され増益**
- ✓ **経常利益**は前年度の出資分配益による営業外収益がなくなり、**減益**
- ✓ **親会社株主に帰属する当期純利益**は前年度に特別損失に計上した減損損失のマイナス要因がなくなったものの、**最終減益**

(単位：百万円)

	23年3月期	構成比 (%)	24年3月期	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	43,406	100.0	43,922	100.0	+516	+1.2
営業利益 (損失▲)	▲ 21	▲ 0.1	768	1.8	+790	—
経常利益	4,783	11.0	986	2.2	▲ 3,797	▲ 79.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,645	3.8	881	2.0	▲ 764	▲ 46.4

25年3月期 通期業績予想

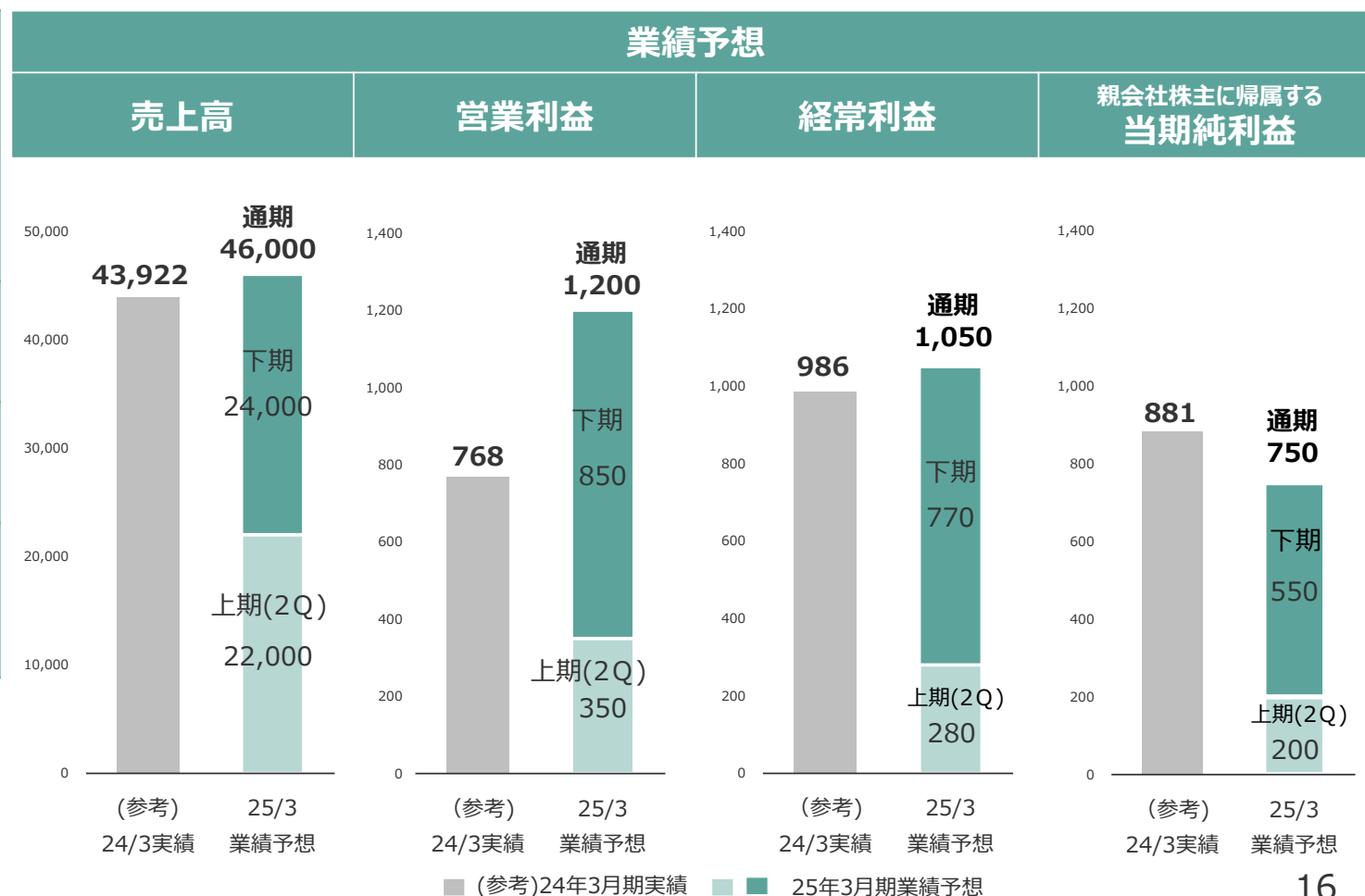
TOKYOink

(単位：百万円)

24年3月期に比べ、増収増益を予想 (営業利益ベース)

	第2四半期 連結業績予想	通期 連結業績予想
売上高	22,000	46,000
営業利益	350	1,200
経常利益	280	1,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	750

上記業績予想は24年5月14日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります



持続的な企業価値向上に向けた取り組み（1/4） TOKYOink

当社の市場評価の現状

株主資本コスト CAPMベースで4～5%程度と認識

ROE 3.13%と低位であり、株主資本コストを下回る

低ROEの原因分析

- ・インキ事業の需要減退や主力3事業に対して成長期待への評価が低く、事業戦略が不透明
- ・現中期経営計画の目標値（ROE：5.0%以上）は市場が求める成長期待（8.0%）よりも低い
- ・売上高当期純利益率（過去6年平均：2.2%）は、製造業平均値：5.2%、同業種平均値：4.6%～7.0%を下回り、利益率の低さが顕著

PBR 0.2～0.3倍台と1倍割れの状況で推移

PBR1倍割れの原因分析

- ・蓋然性のある成長戦略の方向性への理解浸透が不足
- ・具体的なキャッシュアロケーションの開示をしていないことも要因
- ・市場は現状の株主還元策に対して低評価

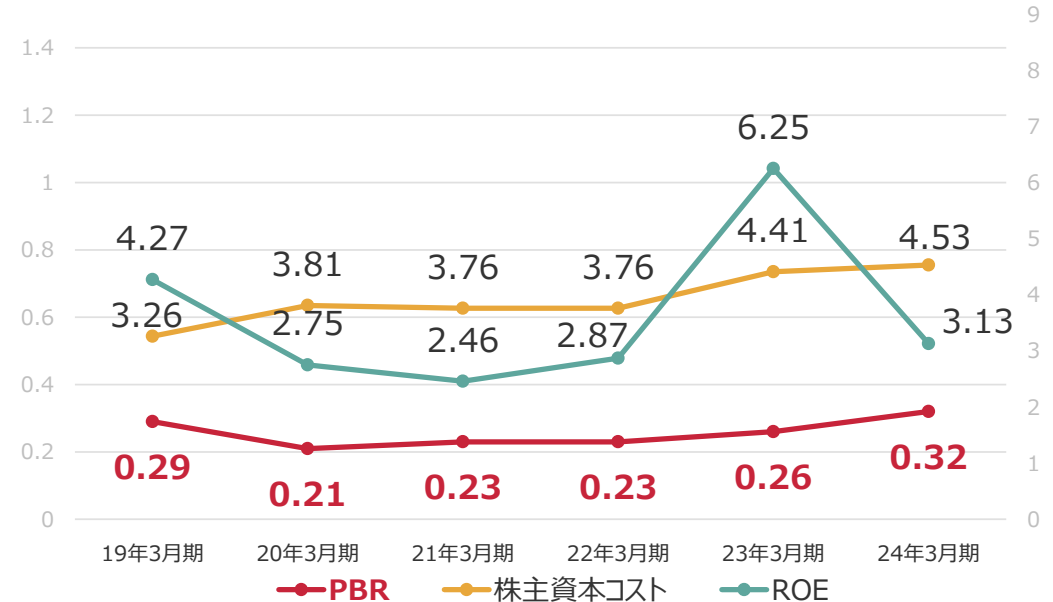
PBRの改善に向けて

- ✓ PBR改善には資本効率性を高め、成長戦略を可視化し、株式市場から適正な評価を受けることが必要
- ✓ 成長戦略を通じた株主還元策で投資家に報いる
- ✓ 投資家への非財務情報含めた情報発信、対話の推進

資本収益性を高める事業ポートフォリオの変革が必須

PBR・株主資本コスト・ROE数値の推移

(単位)
PBR：倍
株主資本コスト、ROE：%

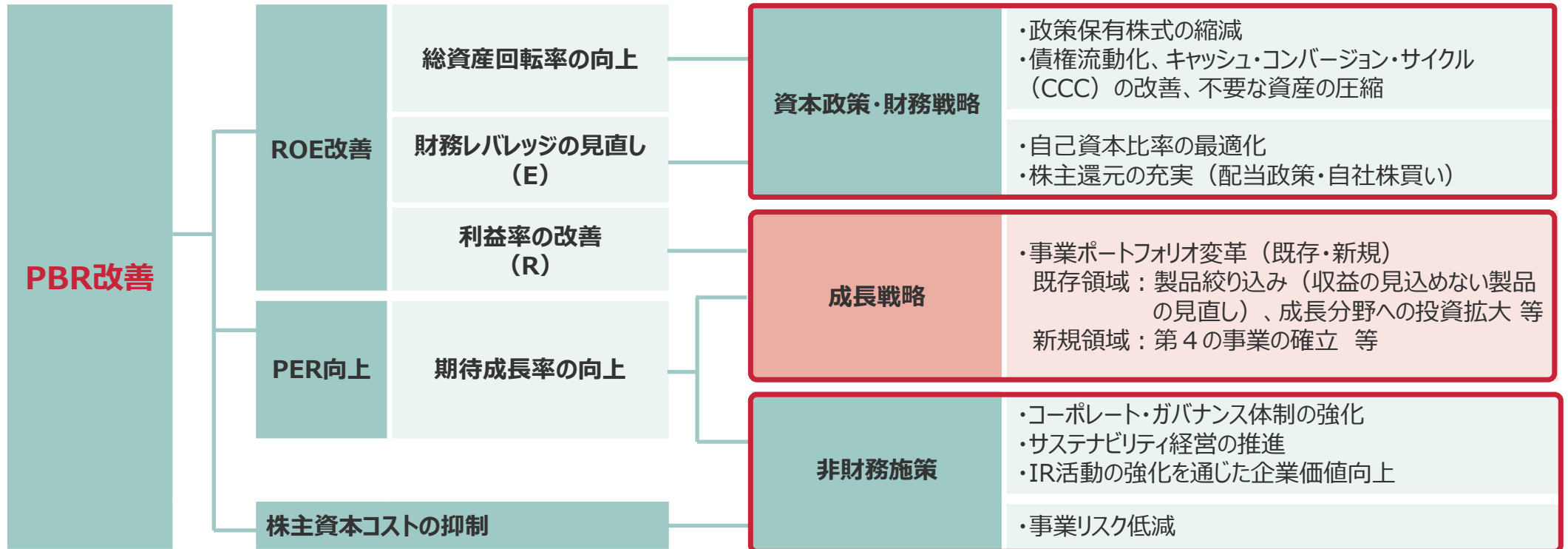


(※)23年3月期は45億円の営業外収益（米国連結子会社TPIC出資分配金）計上

持続的な企業価値向上に向けた取り組み（2/4） TOKYOink

改善に向けた方針

各種戦略実行によりROE8.0%以上を目標とした改善、PER向上を図ることでPBR改善を目指します



各種戦略の具体的な取り組みについては、24年5月30日開示「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」資料に掲載

持続的な企業価値向上に向けた取り組み（3/4） TOKYOink

経営目標（KPI）

31年3月期までに**ROE8.0%以上、当期純利益20億円、営業利益28億円、自己資本250億円**を目標としています

項目	(単位)	24年3月期 実績	25年3月期 TOKYOink 2024 【飛躍への準備】	28年3月期 TOKYOink 2027 【変革の実践】	31年3月期 TOKYOink 2030 【新たな価値の創出】
売上高	(億円)	439	460	480	500
営業利益	(億円)	7.6	12	20	28
当期純利益	(億円)	8.8	7.5	15	20
ROE	(%)	3.1	2.6	5.5	8.0
総資産	(億円)	524	510	500	500
自己資本	(億円)	292	280	270	250
自己資本比率	(%)	55.7	55.0	54.0	50.0

31年3月期 目標

インキ事業
売上高 140億円
営業利益 6億円

化成品事業
売上高 220億円
営業利益 7億円

加工品事業
売上高 80億円
営業利益 9億円

新規事業・その他
売上高 60億円
営業利益 6億円

新規事業

新規事業の確立として投資戦略（M&A）の実行や、新規材料開発の推進、成長戦略や事業ポートフォリオ変革を担う、「**事業ポートフォリオ戦略推進室**」を新設

持続的な企業価値向上に向けた取り組み（4/4） TOKYOink

資本政策：キャッシュアロケーション

経営資源の最適な配分を実践してまいります

25年3月期～28年3月期

キャッシュインフロー	アロケーション	詳細
BSマネジメント 50億円	投資 170億円	成長・サステナ投資 R&D 戦略投資（M&A等） 140億円
営業CF 120億円		
追加資金調達 30億円	株主還元 30億円	維持投資 30億円
		配当 25億円
		自社株買い 5億円

29年3月期～31年3月期

キャッシュインフロー	アロケーション	詳細
BSマネジメント 25億円	投資 120億円	成長・サステナ投資 R&D 戦略投資（M&A等） 100億円
営業CF 135億円		
	株主還元 40億円	維持投資 20億円
		配当 25億円
		自社株買い 15億円

- ・ 31年3月期までに総計240億円を成長・サステナ投資やM&A等の戦略投資に充当してまいります
- ・ **株主還元策は新たな配当政策として、配当性向40%以上またはDOE1.0%以上とする新たな配当方針を策定しました**
- ・ 配当金50億円、自社株買い20億円や株式の流動性を向上させるため、株式分割の検討も行ってまいります

株主還元施策 (1/2)

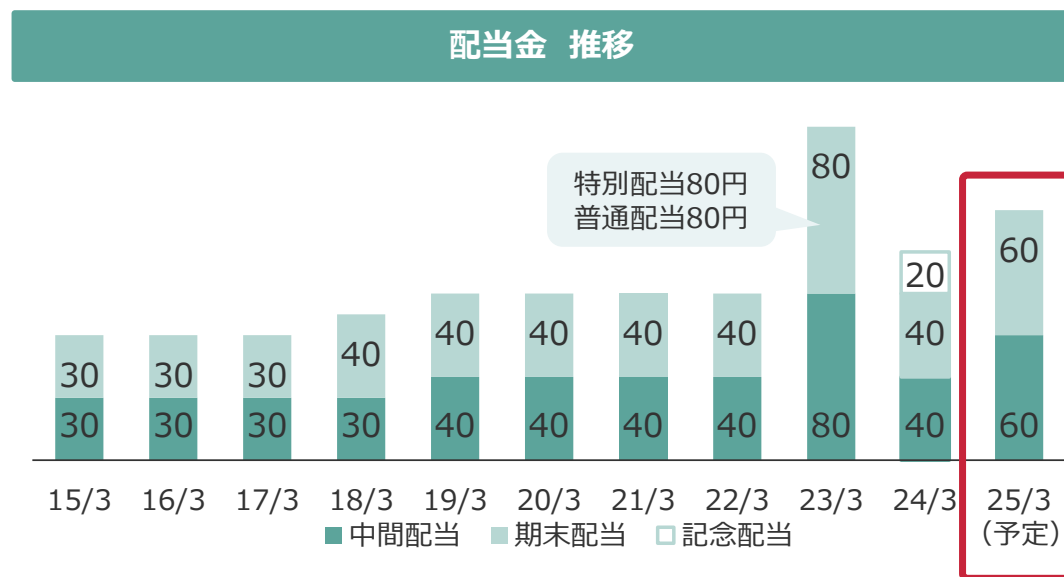
株主価値向上への取り組みとして、25年3月期 年間配当は20円増配を予定

配当方針

- 株主価値を中長期的に高めるために、持続的な成長が必要と考え、「資本効率の向上」、「強固な財務基盤の確保」、「株主還元」の3つのバランスを取ることを資本政策の基本としており、安定的かつ継続的な配当実施を基本方針として連結業績に応じた利益配分を踏まえ持続的な株主価値の向上に努めてまいります。
- また、中期経営計画「TOKYOink 2024」における配当方針として配当性向30%以上を目標としておりますが、更なる株主価値向上への取り組みとして「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」において、配当性向40%以上またはDOE1.0%以上とする新たな配当方針を策定いたしました。

(単位：円)

	24年3月期	25年3月期 (予定)
中間配当	普通配当 1株当たり40円	普通配当 1株当たり60円
期末配当	普通配当 1株当たり40円	普通配当 1株当たり60円
記念配当	1株当たり20円	—
年間配当	100円	120円



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正

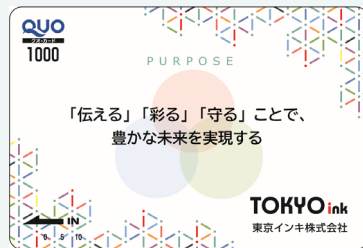
株主還元施策 (2/2)

参考

株式売買単位	100株
最低売買金額	330,500円 (24年6月28日終値3,305円 × 100株)
配当利回り	3.63% (年間配当(予定)120円 ÷ 24年6月28日終値3,305円 × 100)

株主優待制度

基準日	毎年3月31日
保有株式数	100株以上
株主優待制度の内容	オリジナルクオカード1,000円分



長期保有株主様向け

300株以上かつ3年以上(※)保有の場合、
さらに
オリジナルクオカード1,000円分を贈呈

(※) 3年前から当年までのすべての基準日において、
株主番号が継続して同一の株主様

詳細リンク

TOKYOink

東京インキホームページ

<https://www.tokyoink.co.jp/>



長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」説明会動画

<https://www.net-presentations.com/4635/20231211/bepq1a/>



持続的な企業価値向上に向けた取り組み

～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応～説明会動画

<https://www.net-presentations.com/4635/20240530/2/gvgrn4f7c/>



2024年3月期決算説明会動画

<https://www.net-presentations.com/4635/20240530/1/bny7fhdwe/>



東京インキ(株)公式X (旧Twitter) アカウント : 東京インキ株式会社 @tokyoink_1923

アンケート回答ご協力をお願い

TOKYOink

所要時間 1～2分程度

本日は、第3回 資産運用EXPO【夏】内「IR・株式投資フェア」当社ブースおよび「上場企業によるIR・株式投資セミナー」にご来場頂き、誠にありがとうございます。

弊社の今後のIR活動の参考とさせて頂くため、来場者様の率直なご意見をお伺いしたく、アンケートを実施させていただきます。

下記URLをブラウザに入力、または二次元バーコードを読み取って頂き、アンケートにご回答頂けますと幸いです。

URL

<https://forms.office.com/r/19UGr5P9vx>

二次元バーコード



「IR・株式投資フェア」当社ブースは「3-93」です
お気軽にお立ち寄りください



TOKYOink

東京インキ株式会社

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。



【お問合せ先】 東京インキホームページお問い合わせフォーム
<https://www.tokyoink.co.jp/contact/>



東京インキ株式会社
TEL : 03-5902-7652
E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

これからも、彩る世界をあなたと共に

